

津圏域 二級水系流域治水プロジェクト

策定：令和4年3月
更新：令和7年6月
三重県



津圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

～行政・文教施設が集中する県都を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

- 津圏域では、昭和34年の伊勢湾台風、昭和49年の集中豪雨、平成16年の台風第21号等において、外水氾濫および内水氾濫により、大きな被害が発生している。全国的に激甚な水害が近年頻発している状況や、今後見込まれる気候変動による降雨量の増大等を踏まえ、当圏域において事前防災対策を進める必要がある。
- 当圏域においては、下流部には多くの行政施設や文教施設を含む市街地が形成されており、中流部には三重県有数の水田地帯、上流部には山林地帯が広がっている。
- 中流部における広大な農地を潤すため、ため池が多く存在していることに加え、安濃川上流には安濃ダムが設けられ、貯留された水が利用されている。
- 当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、県庁所在地を守るため、河川改修による洪水氾濫対策や下水道施設の整備による内水氾濫対策、安濃ダムの事前放流やため池・農地等を活用した流出抑制を行うとともに、圏域全体においてハザードマップの作成や防災訓練による被害軽減対策を実施することで、浸水被害の低減を図る。

- ：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ：被害対象を減少させるための対策
- ：被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

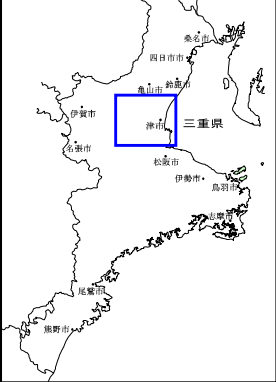
広域的に行う対策

- ・下水道（雨水排水）施設の整備、
- ・田んぼダムの普及・啓発、農業用ため池の洪水調整池転用、農業用ため池の活用
- ・治山ダムの整備
- ・森林整備、保全

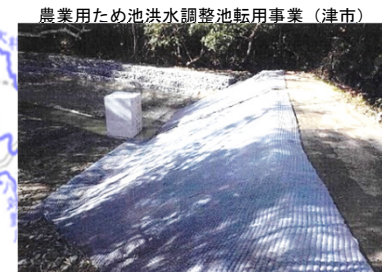
- ・立地適正化計画における防災指針の作成・検討
- ・土砂災害特別警戒区域外への住宅移転支援

- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・高潮・内水ハザードマップなどの策定・周知）
- ・土砂災害警戒区域等の指定・発表
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承（防災教育の支援の実施）
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保
- ・防災訓練の実施（図上訓練、避難訓練）
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（SNS・防災アプリを活用した防災情報の継続的な情報発信、危機管理型水位計・河川監視カメラの設置、防災気象情報の改善）
- ・広報誌等を活用した継続的な情報発信
- ・排水ポンプ車の配備・運用 等

位置図



- 凡例
- 流域界
 - 浸水想定区域(想定最大規模)
 - 県管理区間
 - 県管理区間の対策
 - 市町管理区間の対策



津圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～行政・文教施設が集中する県都を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

■ 津圏域における二級水系全体を俯瞰し、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】津圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で河道掘削やため池の調整池化等を主に実施。被害軽減のため、立地適正化計画に基づく防災指針の作成・検討や水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】津圏域内の市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河川改修事業と下水道整備事業を主に実施。被害軽減のため、防災マップの周知や水防災教育、要配慮者施設の避難体制強化等を継続的に実施。

【中長期】津圏域全体の浸水被害を防ぐため、橋梁改築、河道拡幅等を実施し、圏域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【事業費】

■河川対策

全体事業費 約188億円
 対策内容 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、堤防整備、橋梁改築、耐震対策、堤防整備、堰改築等
 ※圏域内で策定済みの河川整備計画の残事業を記載

■下水道対策

全体事業費 約122億円
 対策内容 下水道施設の整備、ポンプ場整備等
 ※津市雨水管理総合計画事業期間内の残事業費を記載

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、堰改築、施設の延命化、耐震対策 等	三重県、津市	新相川橋梁替完了		
	流水の貯留機能の拡大	・安濃ダムにおける事前放流、堆砂対策 等	三重県、東海農政局	事前放流・堆砂対策		
	内水氾濫対策	・下水道(雨水排水)施設の整備、排水機場の整備 等	津市	志登茂川処理区下水道整備完了 露出川左岸処理区下水道整備完了		
	流域の雨水貯留機能の向上	・田んぼダムの普及・啓発、農業用ため池の洪水調整池転用、農業用ため池の活用 等 ・治山ダムの整備、森林整備 等	三重県、津市 三重県、津市、森林整備センター	森林整備・保全		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	・立地適正化計画における防災指針の作成・検討	津市	ハザードマップの作成・更新		
		・土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	三重県、津市	全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	・水害リスク情報の空白域の解消(洪水・高潮・内水ハザードマップなどの策定・周知) 等	気象庁、三重県、津市 他 あらゆる関係者	ハザードマップの作成・更新		
	避難体制等の強化	・土砂災害警戒区域等の指定・発表 ・持続的な水災害教育の実施と伝承(防災教育の支援の実施) ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保 ・防災訓練の実施(図上訓練、避難訓練) ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供(SNS・防災アプリを活用した防災情報の継続的な情報発信、危機管理型水位計・河川監視カメラの設置、防災気象情報の改善) ・広報誌等を活用した継続的な情報発信 ・排水ポンプ車の配備・運用 等		全ての二級河川における洪水浸水想定区域図の作成完了		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

各事業者の計画が見直された場合には、反映します。新たな関係者にも広く参加を呼び掛けることから、新たな関係者の計画も反映します。

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【相川水系】

～行政・文教施設が集中する県都を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

【位置図】



【ロードマップ】

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、護岸整備、橋梁改築、堰改築 等	三重県、津市	→		
	内水氾濫対策	・下水道(雨水排水)施設の整備 等	津市	→		
	流域の雨水貯留機能の向上	・調整池の整備、ため池の活用 等	津市	→		

新相川橋架替完了

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（洪水氾濫対策）

実施主体：三重県、津市

河川整備計画等に基づき、洪水時の河川水位の低下や、整備計画目標流量を安全に流すための断面確保等を行うため、河道拡幅、護岸整備、河道掘削等を実施するとともに、二級水系に関連する海岸の堤防整備を実施することにより、流域一体で浸水被害の低減を図る。

また、計画的な維持・修繕（河道掘削等）実施することで、河川の健全な機能を保全する。



三泗川における護岸整備
（三重県）



志登茂川における橋梁改築
（三重県）



相川大規模特定河川事業
（三重県）



千里～白塚地区海岸における堤防整備
（三重県）

【実施予定箇所】

河川整備計画に基づく整備：（河道掘削,河道拡幅,堤防整備,護岸整備,堰改築,橋梁改築,耐震対策）

【三重県】安濃川、岩田川・三泗川、志登茂川、相川・天神川、田中川

河道拡幅：【津市】津市内4河川

護岸整備：【津市】津市内2河川

河道掘削：【津市】津市内12河川

施設の延命化：【三重県】毛無川、田中川

海岸整備：【三重県】千里～白塚地区海岸

※その他、状況に応じて維持修繕を行う。



津市内河川における河道拡幅
（津市）



津市内河川における河道掘削
（津市）

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（洪水氾濫対策）

【Pick up事業】相川大規模特定河川事業 実施主体：三重県

ネック点早期解消を図るため、新相川橋の架替（河道拡幅）に予算を集中的に投資し、治水安全度の向上を図る



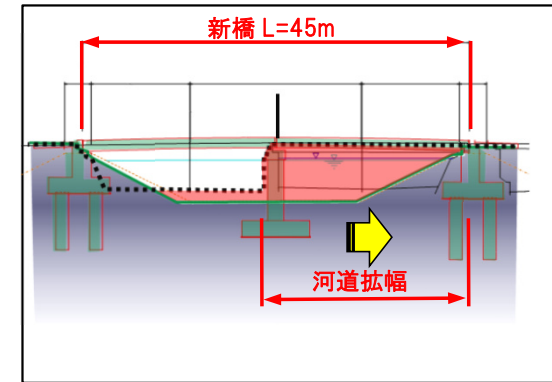
【事業概要】

- ◇ 橋梁架替（新相川橋）
- ◇ 護岸工（右岸）他

位置図



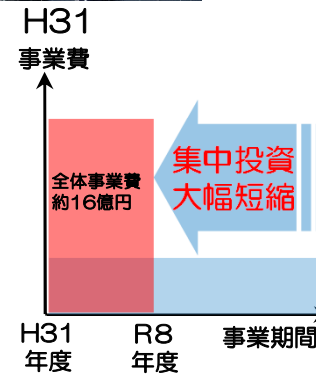
令和8年度
新相川橋供用予定



台風21号で床上浸水33戸
床下浸水180戸の被害発生



河口部から約900mの引堤完了
次のネック点は、新相川橋！



大規模特定河川事業に採択
集中投資で工期短縮！



早期のネック点解消に向けて
仮設道路と仮橋の設置工事に着手！

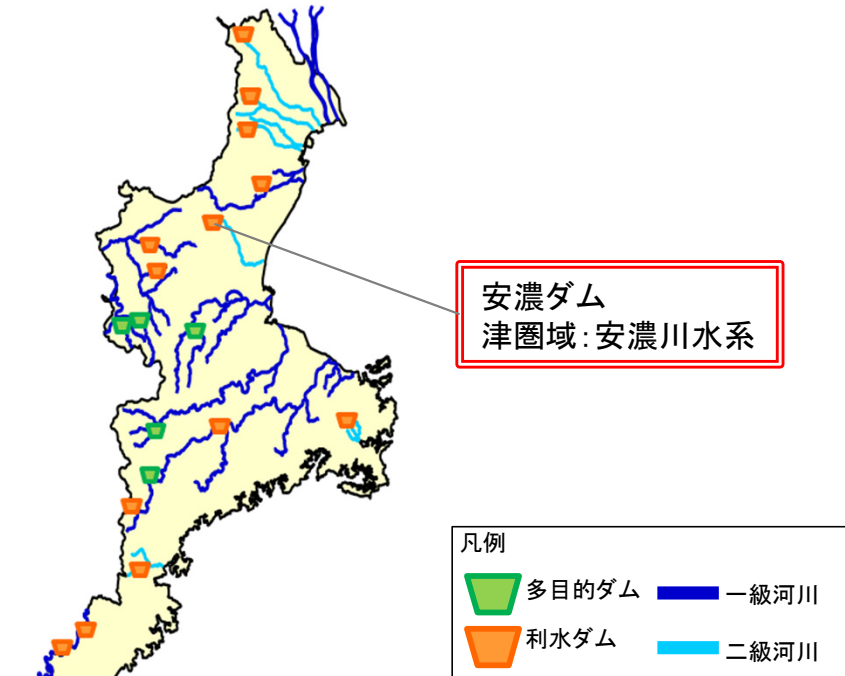
津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（流水の貯留機能の拡大）

実施主体：三重県、東海農政局

安濃川水系に設置されている安濃ダムにおいて、有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるように、事前放流により洪水調節可能容量を一時的に空け、台風など予測できる出水に備える。また、堆砂土砂の貯水容量への影響を軽減するため、貯砂堰堤の設置、堆積土砂の除去を行う。

三重県内既存ダム位置図

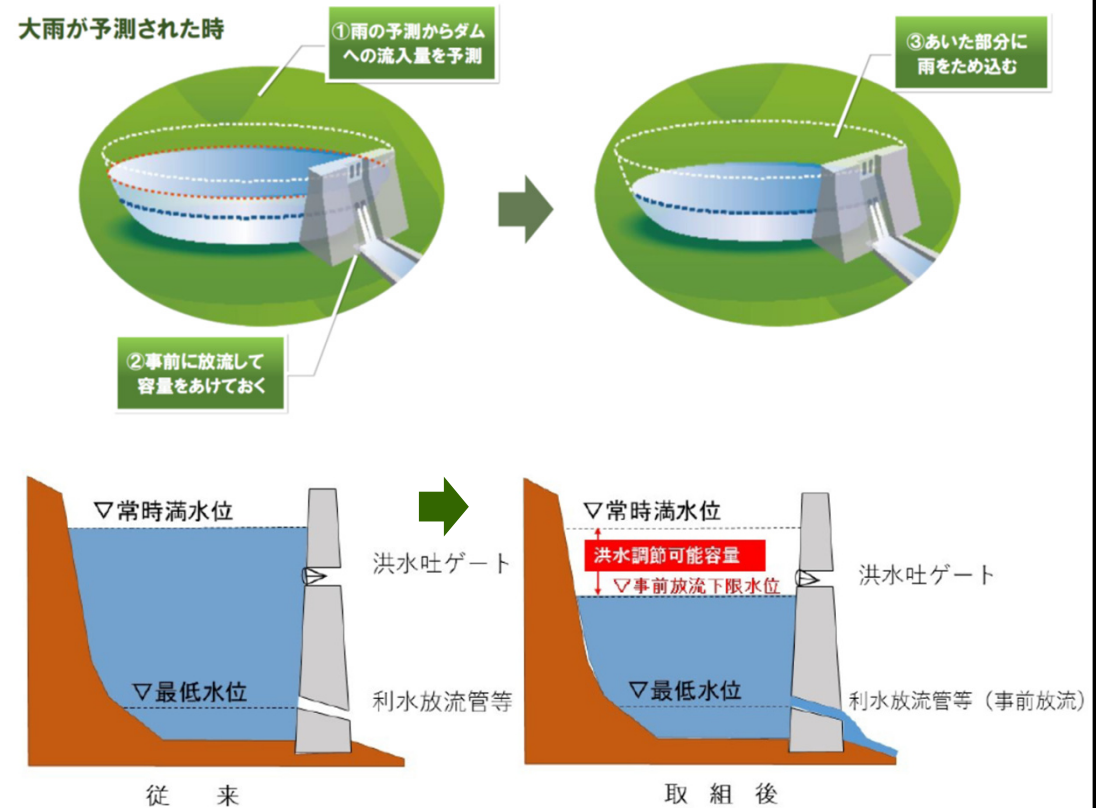


安濃ダム（安濃川水系）

堆砂除去（東海農政局）



事前放流イメージ図



気象庁から発信される降雨予測が基準降雨量以上である時に、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（内水氾濫対策）

実施主体：津市

■ 下水道施設の整備：津市の市街地において想定される浸水被害が大きい14の重点対策地区から計画的に整備し、排水区内で発生する浸水被害の解消を図る。

排水区	内容
・志登茂川水系	
①志登茂川上流第二	バイパス水路建設
②栗真町屋	幹線管渠建設
③上浜	幹線管渠建設
・安濃川水系	
④安濃川上流左岸第二	バイパス水路建設
・安濃川水系、岩田川水系	
⑤橋内東部第二	幹線管渠建設
・岩田川水系	
⑥半田川田	ポンプ場建設、幹線管渠建設
⑦阿漕	幹線管渠建設
・相川水系	
⑧藤方第二	貯留管建設
⑨天神	ポンプ場建設、幹線管渠建設
⑩長浜、伊倉津	ポンプ場改良
⑪野村第一	洪水調整池建設、幹線管渠建設
⑫野村第二	幹線管渠建設
⑬北部第一	洪水調整池建設
⑭射場、明神風早	洪水調整池建設

ポンプ場建設

幹線管渠により集約した雨水を、河川や海へ強制排水することで、排水区の浸水被害を解消する。

天神ポンプ場 半田川田ポンプ場

幹線管渠建設

側溝や水路からの雨水を集約し、河川やポンプ場へ流入させるための主要な下水道（雨水）管渠。

町屋第二雨水幹線
□2000×2000mm 半田川田第一雨水幹線
Φ2800mm

貯留管建設

大雨時、水路で流しきれない雨水を一時的に管渠に貯めることで、浸水被害の解消させる。

現状 改良後

水路 水路 浸水解消 貯留管

藤方第二排水区は、ポンプ場完成までの間、幹線管渠を貯留管として利用

バイパス水路建設

雨水が集中する地域に対して、雨水を余裕のある別水路等へ誘導するためのバイパス水路を整備し、浸水被害を解消させる。

現状 改良後

浸水被害 浸水解消 バイパス水路

洪水調整池建設

大雨時に雨水を貯める池を造ることで、浸水被害を解消し、下流域の洪水被害を解消させる。

現状 改良後

浸水被害 浸水解消 洪水調整池

■ 排水機場の整備：二級水系内にある32箇所の排水機場を適正に維持管理し、そのうち8箇所の施設改修を行うことで、湛水・浸水被害から家屋や農地等を守る。



老朽化したスクリーンを改修

目詰まりが解消され排水機能が回復

河川用排水機場 27箇所
農業用排水機場 5箇所

排水機場とは
河川や農業に伴う事業により整備された施設。

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（流域の雨水貯留機能の向上）

実施主体：三重県、津市

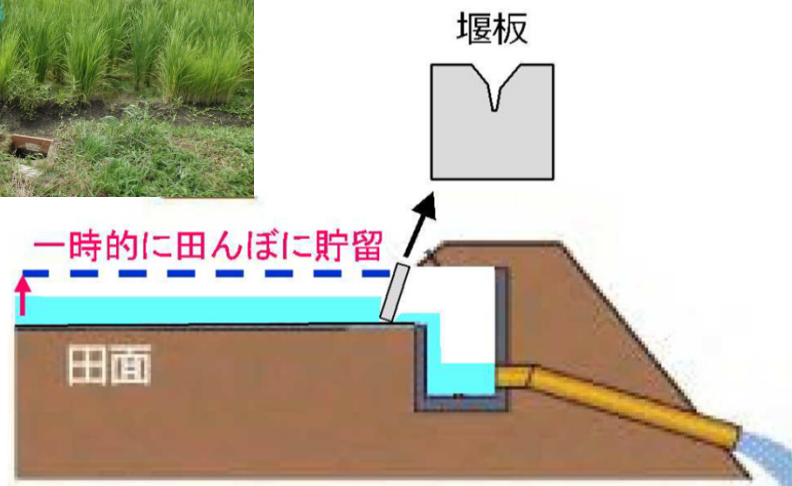
水田の貯留機能向上に向けた田んぼダムの普及・啓発を行う。
洪水調節機能を発揮するため、ため池の活用を行う。

【田んぼダムの普及・啓発】

・流域上流部の田んぼにおいて、排水口（落水工）を改良することにより、大雨時に降水を一時的に田んぼに貯留し排水を調節する排水調整板を設置することにより、排水路や河川への流出を抑制し、下流域での浸水被害の軽減を図るための普及・啓発を行い被害リスクを低減する。

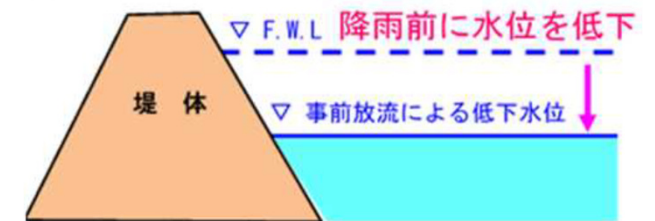


田んぼダム堰板の例



【農業用ため池の活用】

・大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることによって洪水調節機能を発揮する。
（低水位管理含む）



【農業用ため池の洪水調整池転用】

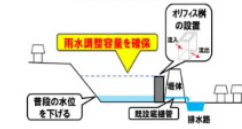
・水田が宅地となり受益地が無くなった農業用ため池に流出抑制の機能を付与することで洪水調整池に転用し、下流域の洪水被害を軽減させる。



真ヶ坪池 整備前



真ヶ坪池 整備後



津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（流域の雨水貯留機能の向上）

実施主体：三重県、津市、森林整備センター

【治山ダム、森林整備】

今後の気候変動の激化を見据え、森林の有する土砂流出防止機能や洪水緩和機能の適切な発揮のため、氾濫河川上流域における治山対策・森林整備を実施する。

【治山ダムの整備による 土砂・流木の流出抑制効果の発揮】

治山ダムの整備により、上流側の溪床勾配を緩くすることで土砂や流木の流出を抑制し災害を防止または被害を軽減。

○治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果
土砂・流木補足イメージ(県内治山ダム整備箇所)



【森林整備による 水源涵養機能の適切な発揮】

手入れ不足等によりが過密状態となった林内において、森林整備を実施することで下層植生を繁茂させ、降雨等に伴う土砂流出を抑制。

○森林整備により林内の光環境の改善
整備前後イメージ(県内森林整備箇所)



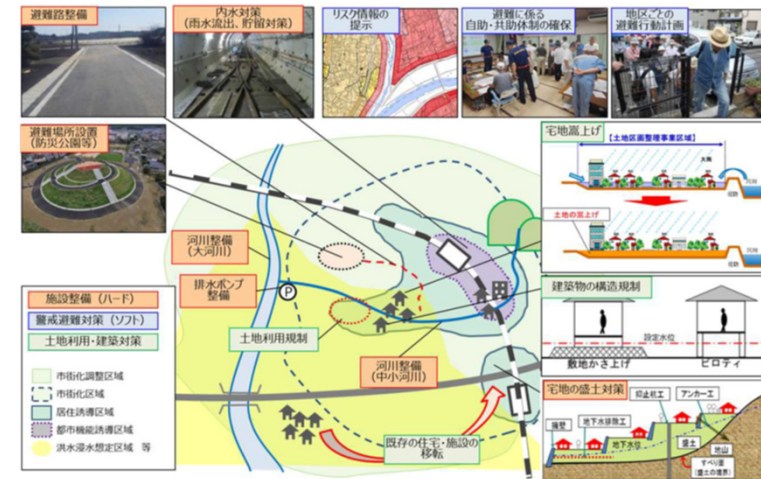
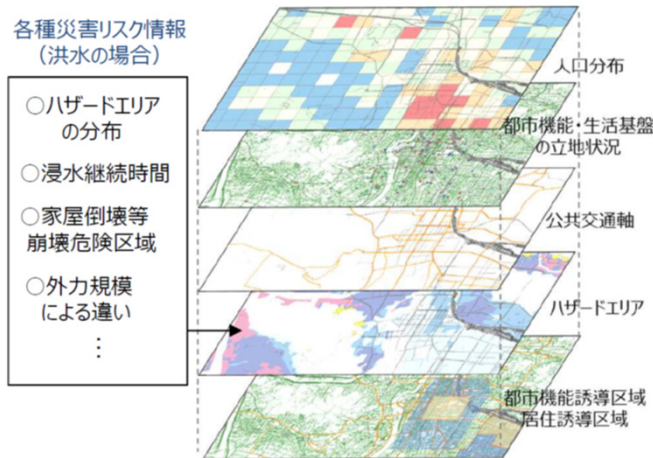
※上記対策は、山地災害の発生状況や森林の荒廃状況等に応じて実施箇所を決定するものであり、その年によって実施状況が変わる対策である。

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害対象を減少させるための対策（立地適正化計画における防災指針の作成・検討）

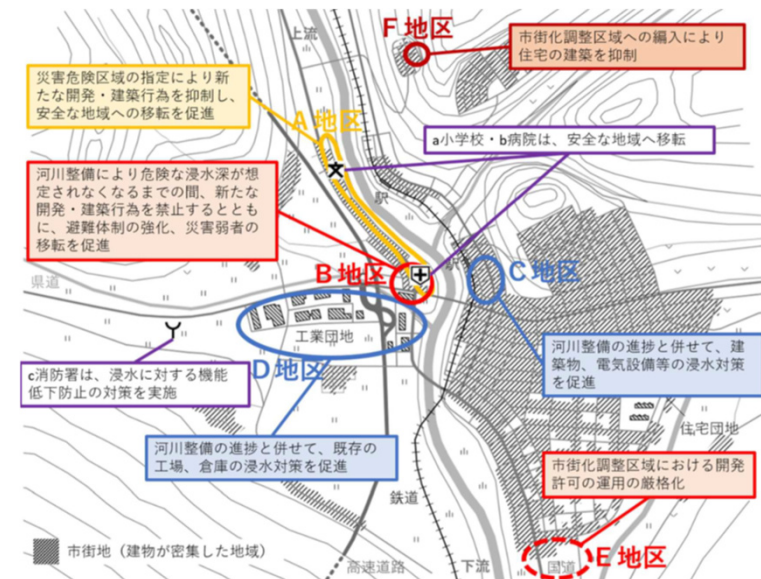
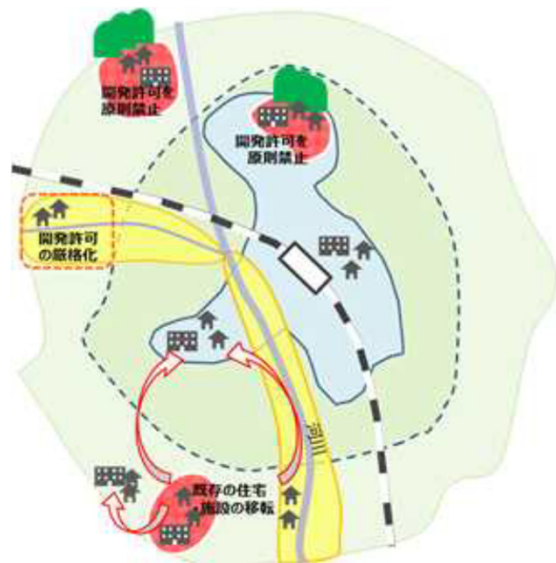
実施主体：津市

防災を取り入れた安全なまちづくりのための方針として、災害リスク情報と都市計画情報を重ね合わせるなど、都市の災害リスクを踏まえた立地適正化計画の検討や都市マスタープランの策定を行う。



災害リスクと都市計画情報の重ね合わせ(例)

防災指針に位置付ける対策(例)



土地利用の規制、安全な区域への移転(例)

防災まちづくりの目標設定(例)

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害対象を減少させるための対策（土砂災害特別警戒区域外への住宅移転支援）

実施主体：三重県、津市

【対策の概要】

がけ崩れ、土石流、地すべり等の危険から住民の生命の安全を確保するため、土砂災害特別警戒区域等の区域内にある既存不適格住宅等の移転を行う者に対し支援を行い、被害の軽減を図る。

【補助対象】

(1) 除却等費

- 危険住宅の除却などに要する費用で撤去費、動産移転費、仮住居費、跡地整備費等

(2) 建設助成費

- 危険住宅に代わる新たな住宅の建設（購入を含む。）及び改修のため、金融機関等から融資を受けた場合の利息に相当する額

(3) 事業推進経費

- 市町が行う事業計画の策定、対象地域の調査等に要する費用

【補助要件】

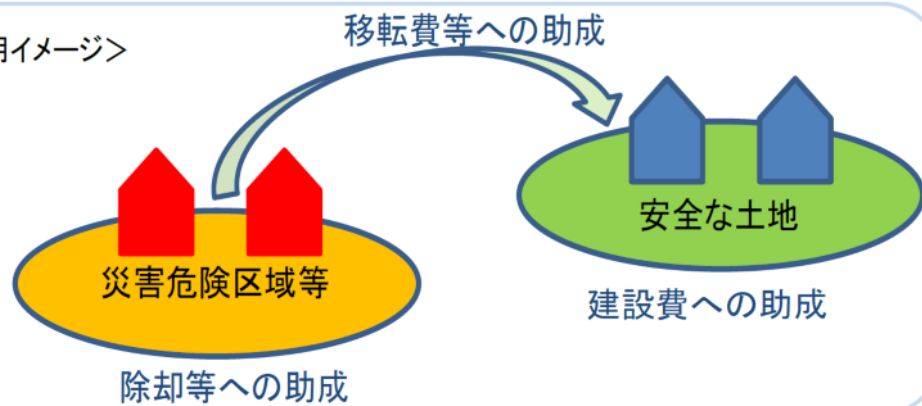
(1) 対象地区要件

- 都道府県知事が指定した土砂災害特別警戒区域（土砂災害防止法第9条）
- 土砂災害特別警戒区域への指定が見込まれる区域（土砂災害防止法第4条）
- 地方公共団体が条例で指定した災害危険区域（建築基準法第39条第1項）
- 地方公共団体が条例で建築を制限している区域（建築基準法第40条）
- 過去3年間に災害救助法の適用を受けた地域（災害救助法第2条）

(2) 対象住宅要件

- 既存不適格住宅（区域指定前に存する住宅等）
- 建築後の大規模地震、台風等により安全上若しくは生活上の支障が生じ、地方公共団体が移転勧告、是正勧告、避難勧告、避難指示等を行った住宅

<適用イメージ>



市町によっては、支援制度を設けていない場合もありますので、詳細については、各市町担当窓口までお問合せください。

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（水害リスク情報の空白域の解消）

実施主体：三重県、津市

津圏域の二級水系流域において、水害リスク情報の空白域の解消を図るため、各種浸水想定区域図を基にハザードマップの作成・周知を行う。

【洪水】津圏域内の全ての県管理河川について浸水想定区域図を作成

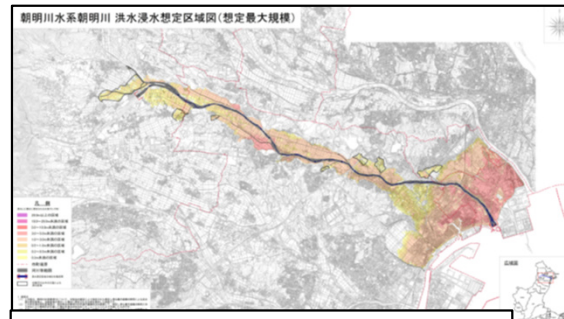


三重県が作成した洪水浸水想定区域図データの活用

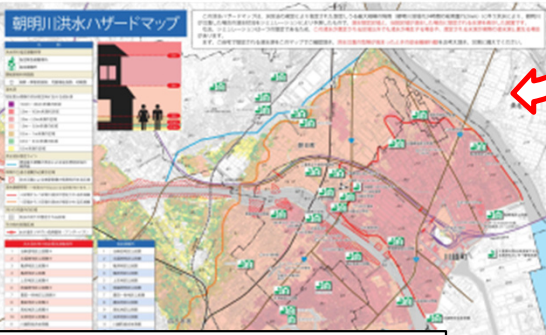
市町へ提供

「浸水ナビ」への登録

ハザードマップ作成



洪水浸水想定区域図(三重県)



洪水ハザードマップ(市町)

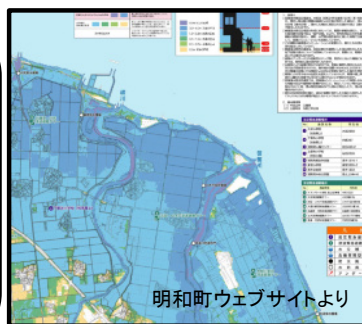
「浸水ナビ」による
浸水シミュレーション



「浸水ナビ」は、洪水浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステムです。堤防決壊が想定される地点(破堤点)や堤防が決壊した後、どこがいつ・どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見ることができます。

<http://suiboumap.gsi.go.jp/>

【高潮】伊勢湾沿岸について浸水想定区域を指定し、高潮ハザードマップ作成エリアを拡大



高潮ハザードマップ(例)

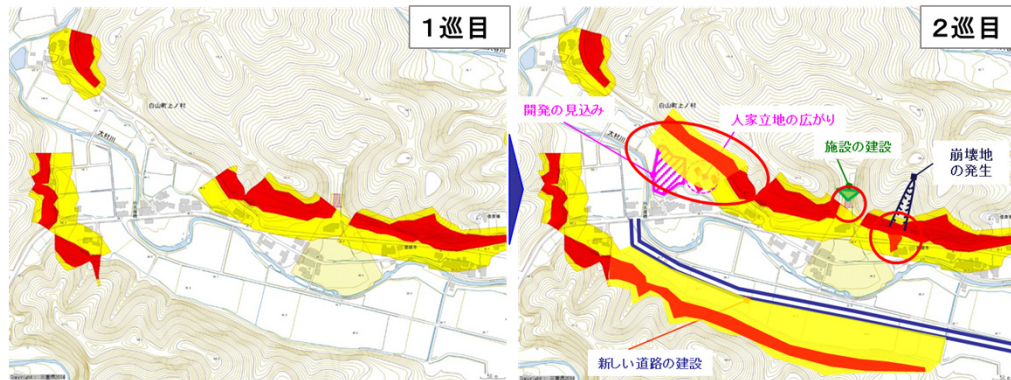
津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（土砂災害警戒区域等の指定・発表）

実施主体：三重県

■ 地形改変等のあった箇所について基礎調査を実施

二巡目以降の基礎調査については、おおむね五年ごとに、各区域における地形や土地利用の状況等を確認し、変化が認められた箇所等については、調査を行う。「土砂災害防止法」より

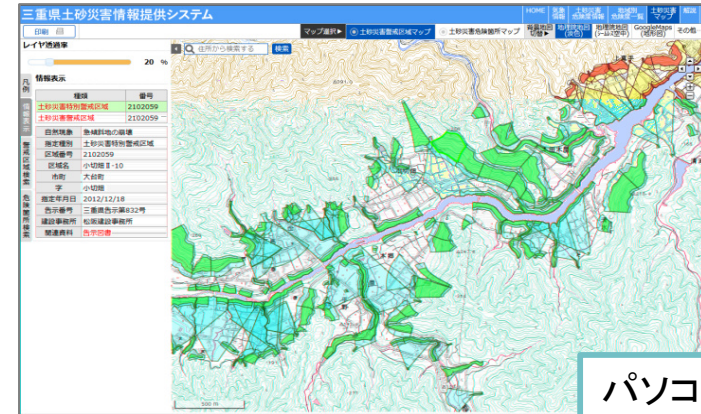


1巡目：要件を満たす箇所について、土砂災害警戒区域等（イエロー・レッド）を指定。

2巡目：地形改変・施設整備・人家立地、周辺状況の変化（開発・道路建設）などによって、1巡目調査時と差異が生じた箇所を抽出

土砂災害警戒区域の指定

■ 三重県土砂災害情報提供システムによる土砂災害警戒区域等の表示



パソコン画面

指定完了箇所について「三重県土砂災害情報提供システム」での情報発信により土砂災害に対する認知度を向上

■ 土砂災害警戒情報の発表

市町	大規模特別警戒・警戒・注意	土砂災害警戒情報
伊勢市	大規模警戒	大規模警戒
桑名市	大規模警戒	大規模警戒
鈴鹿市	大規模警戒	大規模警戒
亀山市	大規模警戒	大規模警戒
いなべ市	大規模警戒	大規模警戒
木曽町	大規模警戒	大規模警戒
東員町	大規模警戒	大規模警戒
桑名町	大規模警戒	大規模警戒
朝日町	大規模警戒	大規模警戒
川越町	大規模警戒	大規模警戒
津市	大規模警戒	発表中
松阪市	大規模警戒	発表中
多気町	大規模警戒	大規模警戒
明和町	大規模警戒	大規模警戒
名張市	大規模警戒	大規模警戒
伊賀市	大規模警戒	大規模警戒

三重県と津地方気象台は、土砂災害発生の危険性が高まったとき、土砂災害警戒情報を発表

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（持続的な水災害教育の実施と伝承）

実施主体：三重県、津市

自然災害に関する心構えや知識を浸透させ、災害発生時に適切な避難行動をとる能力を養うため、持続的に水災害教育を実施する。



ハザードマップ説明会
(津市)



ハザードマップ説明会
(津市)



地域の学習会の様子
(津市)



県と市町担当者の勉強会
(三重県)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保)

実施主体：三重県、津市

洪水による浸水が想定される区域や土砂災害（特別）警戒区域内で市町地域防災計画に定められた要配慮者利用施設について、避難確保計画の作成および計画に基づく避難訓練を促進する。

【浸水想定区域の指定】



※「洪水浸水想定区域」とは、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域であり、河川等管理者である国または都道府県が指定します。

【土砂災害警戒区域の指定】



※「土砂災害警戒区域」とは、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、都道府県知事が指定します。



避難確保計画作成促進に係る講習会・ワークショップ(津市)

津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（防災訓練の実施）

実施主体：三重県

実践的な災害対応力の向上を図るため、三重県では地域防災計画に基づき毎年度総合防災訓練および総合図上訓練を実施する。

三重県総合防災訓練

(1) 訓練概要

大規模災害時における関係機関相互の連携確認、災害対応、技術向上等を目的に国、県、市町、関係機関、地域住民等が参加して行う実践的な訓練です。

(2) 令和6年度実施状況

- 開催日：令和6年12月8日（日）
- 参加者：国、三重県、市町、防災関係機関、地域住民 計約5,200名
- 主な訓練項目
 - ・倒壊家屋救助訓練
 - ・空中消火訓練
 - ・避難所設置・運営訓練 等

三重県総合図上訓練

(1) 訓練概要

三重県災害対策本部の災害対応力向上、市町及び関係機関との連携強化を目的とした訓練です。

(2) 令和6年度実施状況

- 開催日：令和6年9月6日（金）
- 参加者：三重県職員、市町・防災関係機関職員 計490名
- 主な訓練項目
 - ・南海トラフ地震への対処能力向上
 - ・能登半島地震の教訓から得られた課題への対応を検証



津圏域二級水系流域治水プロジェクト【主要施策】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供）

実施主体：三重県、気象庁

■ 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラによるリアルタイムな情報の提供（三重県）



危機管理型水位計
（三重県）



簡易型河川監視カメラ
（三重県）

危機管理型水位計
アイコンをクリック

簡易型河川監視カメラ
アイコンをクリック

「川の水位情報」 <http://k.river.go.jp/> からいつでも水位や河川状況を確認

■ 防災気象情報の改善（気象庁）

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）

令和6年5月下旬から、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施

観測や予測の強化の成果を順次反映し、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの広域においての呼びかけを令和4年6月より運用開始、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を令和5年5月より開始しています。



対象地域を
絞り込んで発表

地方気象情報

大雨に関する東海地方気象情報 第〇号
○年○月○日○時○分 名古屋地方気象台発表
<見出し>
東海地方では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

三重県気象情報

大雨に関する東海地方気象情報 第〇号
○年○月○日○時○分 名古屋地方気象台発表
<見出し>
三重県では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

府県気象情報

大雨に関する三重県気象情報 第〇号
○年○月○日○時○分 津地方気象台発表
<見出し>
東海地方では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

三重県気象情報

大雨に関する三重県気象情報 第〇号
○年○月○日○時○分 津地方気象台発表
<見出し>
三重県では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

対象とならない愛知県、岐阜県、静岡県では、府県気象情報においての呼びかけをしない。

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（全般気象情報）

これまで

全般気象情報

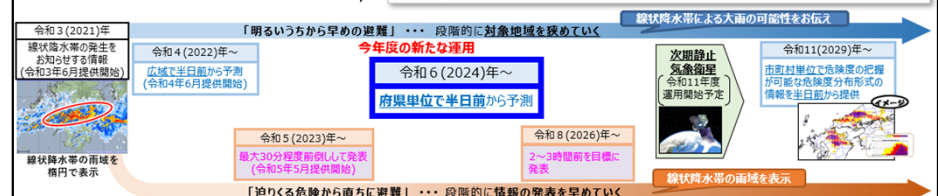
（見出し）
強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかけ接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に警戒してください。
近畿地方では14日午後から15日午後にかけて、東海地方では14日午後から15日午後にかけて、関東甲信地方では14日夜から15日午前にかけて、四国地方では14日夜から15日午後にかけて、中国地方では15日午前中から15日午後にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。
（本文）
<大雨・雷・突風>
（中略）
15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 400ミ
…
16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 300から400ミ
…の見込みです。
線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。
（中略）

これから

全般気象情報

（見出し）
強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかけ接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に警戒してください。既に線状降水帯が発生している状況となっている地域や今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある地域があります。
（本文）
<大雨・雷・突風>
（中略）
15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 300から400ミ
…の見込みです。
線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。また、今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある地域は、東海地方 14日午後から15日午後にかけて 三重県、岐阜県 近畿地方 14日午後から15日午後にかけて 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県 関東甲信地方 14日夜から15日午前中にかけて 神奈川県、長野県、山梨県 中国地方 14日夜から15日午後にかけて 鳥取県、島根県、岡山県 四国地方 14日夜にかけて 徳島県
です。（中略）

線状降水帯による大雨災害の危険度が急激に高まる可能性のある期間を明確化



津圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～行政・文教施設が集中する県都を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

<p>河川整備計画等に基づき河川改修や河床掘削を実施</p>  <p>河川改修の実施延長 309m 河床掘削による堆積土砂撤去量 16,700m³ (令和6年度実施分) ※整備が完了した延長 ※撤去が完了した量</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>たんぼダム (令和6年9月末時点) 1市 ため池 (令和5年度実施分) ※農業用ため池の洪水調整池転用 ※ため池の低水管理</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>4施設 (令和4～6年度実施分) ※整備が完了した施設</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 0箇所 (令和6年度実施分) ※国直轄事業及び補助事業に限る 砂防関連施設の整備数 0施設 (令和6年度完成分) ※施行中 1施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>0市 (令和7年3月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 19河川 (令和7年3月末時点) 内水浸水想定区域 1団体 (令和6年3月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 249施設 土砂 7施設 (令和6年3月末時点) 個別避難計画 1市 (令和6年4月1日時点)</p>
---	--	--	--	--	--	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川整備計画に基づく整備

【三重県】



- 相川は、河川整備計画等に基づき、洪水時の河川水位の低下や、整備計画目標流量を安全に流すための断面確保等を行うため、河道拡幅等を実施する。

田んぼダムの普及・啓発

【三重県、津市】




- 流域上流部の田んぼにおいて、排水口(落水工)を改良することにより、大雨時に降水を一時的に田んぼに貯留し排水を調節する排水調整板を設置することにより、排水路や河川への流出を抑制し、下流域での浸水被害の軽減を図るための普及・啓発を行い被害リスクを低減する。

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成・検討

【津市】



災害リスクと都市計画情報の重ね合わせ (例)

防災指針に基づく取組 (例)

建築物の浸水対策

避難路・避難施設の整備 (例)


土地利用の規制、安全な区域への移転 (例)

- 近年の自然災害の頻発・激甚化を踏まえ、災害リスクを踏まえた防災まちづくりを進めることが重要である。
- 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律(令和2年9月7日施行)に伴い、新たに立地適正化計画の居住誘導域内で行う防災対策・安全確保対策を定める「防災指針」の作成を実施する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保

【津市】




洪水による浸水が想定される区域や土砂災害(特別)警戒区域内で市町地域防災計画に定められた要配慮者利用施設について、避難確保計画の作成および計画に基づく避難訓練を促進する。

避難確保計画作成促進に係る講習会・ワークショップ(津市)

流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供

【三重県、気象庁】



危機管理型水位計

簡易型河川監視カメラ

- 頻発する豪雨災害への備えとして、「危機管理型水位計」、「簡易型河川監視カメラ」を設置し、水災害の早期把握に資する情報提供や防災気象情報の改善を行う。